

東京四極だより

〔書：篠田直雄 東京四極会初代理事長・昭和3年卒 高商4回〕

<http://www.tokyoshiwasukai.jp/>

発行者 姫野易之
編集責任者 奥川隆生
発行所 東京四極会
〒210-0812
川崎市川崎区東門前3丁目11-14
丸伊ビル1階 カワカ産業株式会社内
E-mail : info@tokyoshiwasukai.jp

平成二十八年度 東京四極会 定時総会開催！

― 当日参加の若手会員も楽しく懇談 ―

6月4日(土)渋谷区の新日鐵代々木倶楽部において理事会および本年度の定時総会を開催した。出席者はご来賓3名、会員47名、計50名となった。総会に先立ち11時30分から理事会を開催した。出席者は16名。議事では、総会議題の確認を行うとともに、最近の会費納入会員の減少傾向についての質問に対して、姫野理事長から「会費をお支払いいただく会員の増加という課題は変わらないが、最近の特徴として会費の免除年齢に達する層が増えてきたこと、仕事を終えて故郷に帰られる方が増加していることも納入会員減少の背景」という回答がなされた。

引き続く総会は、遠藤事務局次長(第47回)の司会と開会宣言で終わった。

姫野理事長挨拶

「本部ベースで2つの検討委員会が昨年発足した。

定時総会議事内容

まず、姫野理事長が「平成27年度活動報告」を、27年度決算(案)、28年度予算(案)は、米井事務局



次長(第54回)が提案を行った。米井事務局次長「昨年は事務所移転に伴う交通費や電話料の削減効果は



まず、姫野理事長が「平成27年度決算(案)、28年度予算(案)は、米井事務局

状況、特に、先地震の影響に続き、経済学部開学100周年記念行事の検討や四極会の本部支部のあり方検討を行う委員会開催の背景などに触れた。



総会議案はこれで終了し、来賓挨拶に移った。まず、相良四極会名誉

辰一参議院議員に代わって柴原秘書が政局報告を行い、黒木昭博氏からは6月15日発売の著作「0から1をつくる・まだないビジネスモデルの描き方」(日経ビジネス社)の紹介があった。



また、相良四極会名誉会長が、ふるさと大分の

小迫邦彦(第39回)、石橋泉三(第40回)、大山博康(同)、友永英一(同)、葛城征志(第41回)、松浦靖弘(同)、栗林保幸(第44回)、田川俊夫(同)、竹上英文(同)、姫野易之(同)、宮田豊(同)、佐藤勝峰(第45回)、内山茂(第46回)、首藤照雄(同)、西依章郎(同)、的場正道(同)、遠藤孝行(第47回)、松浦隆志(同)、田中典明(第48回)、山下政晴(同)、下村晃(第49回)、伊賀勝秀(第50回)、奥川隆生(同)、河原文博(第51回)、松岡幸秀(第52回)、石川公博(第53回)、米井晃彦(第54回)、國廣保彦(第56回)、近藤昌則(第57回)、梅木俊宏(第58回)、田尻清司(第59回)、小林伸彦(第60回)、内田孝一(第61回)、渡辺博子(第63回)、千葉史(第68回・平成5年)、丸尾克弘(第72回・平成9年)、黒木昭博(第81回・平成18年)、徳永直也(同)、佐々木準(第86回・平成23年)、藤原歩美(第88回・平成25年)以上50名。

は、政務で欠席した衛藤

◆今後の予定
◆春の懇親ゴルフ 毎年4月
富士カントリークラブ
◆平成29年度理事会 総会
来年6月3日(土)
新日鐵代々木倶楽部
◆たまには歩こう会 年数回を予定
◆東京四極会 年数回を予定
◆若手会員の集い 毎年8月
田町ニュートーキョー
◆秋の懇親ゴルフ 毎年9月
習志野カントリークラブ
◆平成29年新年会予定
来年2月3日(土)
新日鐵代々木倶楽部

「相良名誉会長、市原経済学部長のご挨拶の詳細や懇談会のスナップ写真は東京四極会HPにアップしています」

確定日程など確認の問い合わせは以下のメール、もしくはハガキで事務局までお願いします。

E-mail : info@tokyoshiwasukai.jp/

ハガキ(事務所宛)
〒210-0812 川崎市川崎区東門前3-11-14
丸伊ビル1階 カワカ産業(株)内 東京四極会



総会・懇談会の
スナップをどうぞ!!

平成27年度 東京四極会活動報告

平成27年				
4月	1日	「東京四極だより」第67号発刊(会報通算128号)		
4月	13日	第20回「東京四極会杯」ゴルフコンペ(御殿場 富士CC)		雨天中止
5月	25日	監事による監査(会場:ニュートーキョー田町店)		
5月	30日	東京四極囲碁会(会場:新宿囲碁センター)		参加者17名
6月	6日	平成26年理事会開催(新日鐵・代々木倶楽部) *H25年度活動報告・決算案並びにH26年度予算案審議について		出席理事17名
6月	6日	平成27年定時総会開催(新日鐵・代々木倶楽部)		参加者47名
6月	13日	第72回「たまには歩こう会」(小田原城址公園 あじさい&花菖蒲)		参加者10名
7月	11日	第16回四極会理事会&第7回評議員会・支部長会議 (会場:アイリス愛知)		
8月	3日	若手会員の集い(会場:ニュートーキョー田町店)		参加者13名
9月	5日	東京四極囲碁会(会場:新宿囲碁センター)		参加者17名
9月	17日	第22回「東京四極会杯」ゴルフコンペ(会場:千葉 習志野CC)		参加者11名
9月	18日	第17回四極会理事会(会場:大分センチュリーホテル)		
9月	18日	経済学部と四極会の意見交換会(会場:大分センチュリーホテル)		
10月	1日	「東京四極だより」68号発刊(会報通算129号)		
11月	22日	第73回「たまには歩こう会」(紅葉の鳥居観音)		参加者15名
平成28年				
1月	23日	平成28年「たまには歩こう会」新年会(会場:赤坂月世界ビル)		参加者15名
2月	6日	東京四極会新年会開催(新日鐵・代々木倶楽部)		出席者70名
2月	9日	四極会と大学との意見交換会(会場:レンプラントホテル大分)		
2月	14日	第74回「たまには歩こう会」(多摩丘陵の公園と百草園の梅林)		参加者12名
2月	19日	東京四極囲碁会(会場:新宿囲碁センター)		参加者12名
3月	23日	第18回四極会理事会(会場:大分センチュリーホテル)		
3月	26日	第75回「たまには歩こう会」(隅田公園の桜と向島百花園)		参加者12名



平成27年度収支決算 & 平成28年度収支予算

<平成28年3月31日> (単位:円)

区分	費目	27予算	27決算	決算差額	28予算
収入の部	(1)経常収入(年会費)	1,344,000	1,151,700	△192,300	1,152,000
	<会費納入者数>	<280名>	<240名>		<240名>
	(2)事業収入(総会会費他)	820,000	838,000	18,000	820,000
	(3)特別収入	0	0	0	0
	(4)その他(受取利息)	240	152	△88	200
	収入合計	2,146,000	1,989,852	△174,388	1,972,200
支出の部	(1)事業活動費(総会費他)	1,330,000	1,385,879	55,879	1,411,000
	(2)本部関係(支部分担金)	350,000	350,000	0	300,000
	(3)運営費(人件費他)	466,000	351,427	△114,573	276,000
	支出合計	2,146,000	2,087,306	△58,694	1,987,000
余剰金	差引本年度 剰余金	18,240	△97,454	△115,694	5,200
	前年度 繰越金	971,212	971,212	0	873,758
	期末未処分剰余金	989,452	873,758	△115,694	878,958

◎平成27年度末 財産目録(単位:円)
◇一般会計会計残高 873,758
◇募金会計残高 7,167,659
合計 8,041,417

◎監査報告
監事 田中 典明
監事 松岡 幸秀

※この写真を含め懇親会のカラー写真が東京四極会ホームページに掲載されています。



隅田川七福神と向島百花園 (第75回歩こう会)

今年三度目の歩こう会は、4月2日(土)3月末から4月上旬の天気予報は、雨や曇りの連続で晴天はほとんど望めない状況なので心配していたが、この日は、気温は低いものの天気の崩れは免れそうであった。

9時に出発。吾妻橋を渡ってリバーピア吾妻橋(アサヒビル本社・吾妻橋ホールなど)の前を通り、墨田区役所脇を抜けて枕橋から隅田公園に。途中、区役所手前にある勝海舟銅像の下を通る。数人が階段を登って銅像を写したりした(台座の文字は勝安房)。

隅田公園は関東大震災の復興事業の一環として整備されたもので、公園内には桜のほか緑が豊富で釣り堀りもある。言問橋の手前右手に牛嶋神社

を左に回り込んで、祭壇所にあり、祭神は宇迦御魂之命。もともとは村社であったが、俳人宝井其角が当地に立ち寄り、雨乞いの要請を受けて「遊ぶた地や田を見めくりの神ならば」の句を神前に奉じたら翌日降雨があったとも伝わる。



東京四極会 大分大学経済学部

は三井家100年の当主達の頭名霊神がある。また三井グループ各社で作る三井倉が年四回祭祀をも催しており、元池袋三越前のライオン像も寄贈されている。そのほか隅田川七福神の内恵比寿および大黒を祀っている。(09:40~09:50)

墨堤通りに戻って桜橋へ向かう。階段を登って桜橋の前に出ると大勢の人が散策していた。堤の左手の方向には出店が並んでいて賑やかだ。(10:00)

次の目的地弘福寺が右手下方に見える。再び階段を下りて裏口に着くと、門が閉まっていた。見番通りまで戻って正面から参拝。五頭山弘福寺は黄檗宗の寺院で本尊は釈迦如来だが、隅田七福神の布袋尊を祀っているほか、咳止め信仰の翁婆も安置されており、咳止飴を売っていた。(10:10)

弘福寺に隣接して長命寺がある。天台宗の寺院で本尊は阿弥陀如来、宝寿山常泉寺と称したが、寺内にある井戸は徳川家光が鷹狩の途中、不快のため休憩した折、この井戸水で薬を服用したちまち快癒したことで、長命水と名付け、併せて寺号を長命寺と命名したものの。境内にはこのほか松尾芭蕉の「いざさらば雪見に転ぶところまで」の句碑がある。また隅田川七福神の弁財天を安置している。境内を抜けた右手に「長命寺校もち・山本屋」があり、大勢の人が並んで十時半の開店を待っていた。(10:20)

墨堤通りに戻って左折するとそこが「言問団子」。店内には椅子やテーブルがあり、その場で食べても持ち帰ってもいいそう。中はかなり混雑していた。皆ここで土産にする注文したが、出上来るまで随分時間がかかる。雑談しながら待っていたら全員土産が揃ったのは11:00を過ぎていた。

言問団子の店を後に向島百花園に向かう。隅堤通りを直進、志満ん草餅や吉備子屋(きびだんご)の先子育て地蔵を右折向島百花園の角を左折して向島百花園の入口に着いた。数人の参加者が昼食を持参していなかったの近くコンビニで弁当を購入するため、立ち寄りから左へ降りると白髭公園に入る予定であったがマンションなどが立ち並んでいて入口が分からず、すんずん進んでしまった。この辺りの隅田川沿いの土手は桜並木となっていた。水神大橋を渡って鐘ヶ淵駅へ通じる通りと鐘ヶ淵陸橋で交差する墨堤通りをそのまま行くとカネポー物流・運動広場の脇を抜けて多門寺に着いた。

多門寺の山門は茅葺きで風情がある。隅田山吉祥院多門寺は真言宗・智山派の寺院で本尊は毘沙門天、別名は多聞天で寺号の由来だ。毘沙門天は弘法大師の策とも伝えられ、隅田川七福神に挙げられている。山内には六地蔵の安置されている。(14:00~14:30)

多門寺を後に鐘ヶ淵駅へ。(14:30~14:45)この辺り一帯は池波正太郎の小説「剣客商売」の主人公・秋山小兵衛の隠宅があるところだ。東武伊勢崎線・鐘ヶ淵駅発15:00~15:11浅草駅着・解散。

参加者(生田陽代・葛城征志・田川俊夫・ヒロ子・竹上英文・福島克己・松永幸一・戸次笛子・松岡幸秀・溝辺憲治・用正靖彦・梅合寛雄以上12名

東京四極会 第23回 春の懇親ゴルフ

4月18日(月)例年通り御殿場市の富士カントリークラブで開催されました。今年は都合が悪い人が多く、その上直前に腰を痛めドクターストップのかかった人もおり(彼はゴルフのやり過ぎ、と言う同期生もいました)僅か6名2組のコンペとなりましたが、スタート前のミーティングの際、期せずして「少数精鋭、ガンバロー」と聞

の声が上がりました。この春は、素晴らしいの1つに、来年は、4組位でやったらもっと楽しいのに、皆さんの感想でした。成績は次の通りです。

優勝 石松英二 G82 H6 NET76

準優勝 佐藤勝峰 G88 H10 NET77

参加者 田中五郎(30)、中川鐵一(40)、佐藤勝峰(45)、田川俊夫(44)、溝部憲治(44)、石松英二(48)(中川記)

東京四極会「若手会員の集い」開催

今年8月1日(月)18時30分よりニュートキョー第一町店にて「若手会員の集い」が開催された。

昭和58年以降卒業の会員と東京四極会役員とで納涼を兼ねた懇親会となった。

まず、勤務先を含めた近況・自己紹介があり、懇談に入った。加えて各年次の同期会の開催状況の説明があった。その後、事務局から実施行事予定を説明し、同期の方々に行事参加を促す事



をお願いした。

最後に今年も、来年こそは若手の参加をもっと増やすことを約し、散会した。

東京四極会からの出席者(敬称略)は次の通り。

梅木俊宏(S58)、西川広子(S60)、小林伸彦(S60)、内田孝一(S61)千葉史(H5)、丸尾克弘(H9)、藤原歩美(H25)、姫野易之(H44)、佐藤勝峰(S45)、西依章郎(S46)、松浦隆志(S47)、下村晃(S49)、石川公博(S53)、大坪孝幸(S55)計14人

東京四極会 若手有志に焼肉会

2016年9月24日中堅・若手メンバーによる「焼肉会」が神奈川県横浜市の大坪孝幸さん、S60卒大坪孝幸さん、S60卒小林伸彦さんの声掛けで、

今回は工学部メンバー、大分大学の元教授、20代の若手など所属・年齢・性別の多様性に富んだメンバーが集まり、秋の夜長を楽しみました。特に今回は初参加のメンバーも多く、20代若手メンバーからは、近年の大分大学の状況や会社の話など活発な近況報告がなされ、先輩メンバーが興味津々に耳を傾け、また時には上司のように暖かいアドバイスをいただくなど交流を深めることができました。もちろん大分大学時代の話にも花を咲かせ東京にいなながら懐かしいの大分を思い出す、心温まる時間を過ごすことができました。

大分大学というつながりを通じ多くの方から新たな視点をいただくことができるので私は参加を毎回楽しみにしています。焼肉会以外でも、中堅・若手層を中心に年1〜2度交流会を開催しており今後も引き続き積極的な活動を展開していく予定です。

参加者・大坪孝幸(S55)、金馬弘明(S57)、梅木俊宏(S58)、首藤秀行(S59)、小林伸彦(S60)、内田孝一(S61)、小幡靖憲(S62)、千葉史大塚幹昌、小田勉(工学部)、小田倫子(H5)、衛藤寛(H6)、吉田勝山(H7)、丸尾克弘(H9)、大学院 菊川敬規(H10)、島津侑香(H17)、佐々木準(H23)、藤原歩美(H25)、国士館大学 経済学部 教授 中鶴 忠宏(第40回) 岩田修(第44回) 平成28年2月 平成28年4月



若手有志の懇談会より

謹んでお悔やみ
申し上げます
(敬称略)

田中敏行先生、以上19名